

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年8月22日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		7月の価格動向			8月の価格動向		生育及び価格の8月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		
			中旬	下旬				上旬
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	93	74	74.19	55	・入荷見込量：15,310t (100) ・主産地：群馬(77)、岩手(12)、北海道(6) ・群馬産は生育が順調で、少なかった前年を2割上回る潤沢な出荷量となり、今後も潤沢な出荷の見込み。岩手産も生育が順調で、前年を上回った出荷となっており、今後も多い状況が続く見込み。 ・需要を大幅に上回る出荷が続いていることから、価格は平年を大きく下回って推移する見込み。	
		93.59	102	76	93.59	56		・入荷見込量：4,000t (100) ・主産地：群馬(70)、長野(26)
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	273.33	289	274	273.33	240	・入荷見込数量：4,168t (100) ・主産地：茨城(34)、青森(23)、秋田(7)、千葉(7)、輸入(6)、北海道(6)、埼玉(4) ・茨城産は猛暑の影響で生育停滞がみられやや少なめの出荷となっており、今後は出荷の終盤を迎え減少傾向となる。青森産は8月の少雨の影響で少なめの出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
		512.77	415	393	512.77	352		・入荷見込数量：190t (100) ・主産地：香川(28)、大阪(19)、徳島(13)、奈良(12)、高知(8)
	はくさい	82.17	56	57	82.17	54	・入荷見込量：5,743t (97) ・主産地：長野(86) ・長野産は好天に恵まれ順調な生育で大玉傾向、前年より2割多めの出荷となっている。群馬産も順調な生育となっている。 ・潤沢な出荷が見込まれる一方、需要が減退しているため価格は平年を大きく下回って推移する見込み。	
		98.58	54	54	98.58	51		・入荷見込量：2,350t (105) ・主産地：長野(98)
	ほうれんそう	583.95	577	658	583.95	567	・入荷見込量：657t (97) ・主産地：栃木(33)、群馬(24)、茨城(14)、岩手(14) ・栃木産は、7月末からの豪雨により生育が悪く平年より少なめの出荷となっている。群馬産は暑さの影響で少なめの出荷となっているが、今後は順調な出荷の見込み。 ・群馬産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		670.86	705	646	670.86	606		・入荷見込量：380t (101) ・主産地：岐阜(86)、北海道(8)、
	レタス	126.45	96	92	166.6	111	・入荷見込量：8,400t (100) ・主産地：長野(85)、群馬(11) ・群馬産は7月下旬の多雨の影響で病害が発生し正品率が低く、9月上旬まで少なめの出荷となる見込み。一方、この時期の出荷の大宗を占める長野産は順調な出荷となっている。 ・長野産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		132.22	92	88	160.6	113		・入荷見込量：1,750t (102) ・主産地：長野(99)
	たまねぎ	84.85	60	60	76.15	75	・入荷見込量：10,368t (104) ・主産地：佐賀(32)、兵庫(29)、北海道(27)、輸入(2) ・佐賀産は小玉傾向ではあるが平年を上回る出荷となる見込み。兵庫産は大玉傾向で、前年を上回る出荷となる見込み。北海道産は、春先の長雨の影響で生育に1～2週間の遅れが出ているが本格的な出荷の開始を迎えている。少なかった前年よりは多い見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに移する見込み。	
		84.85	69	70	76.15	75		・入荷見込量：3,600t (99) ・主産地：兵庫(82)、北海道(9)
果 菜	きゅうり	210.69	227	247	210.69	199	・入荷見込量：7,772t (97) ・主産地：福島(45)、岩手(23)、秋田(10)、宮城(6) ・福島産は7月下旬の低温の影響で少なめの出荷量となっていたが、8月の気温の上昇で出荷量が一気に増加した。今後は徐々に減少にしていくな大幅な減少とはならない見込み。岩手産はなり疲れと気温の低下で少なめの出荷となり、下旬は前年より少ない見込み。 ・出荷量の減少が見込まれることから、8月中旬に入って低水準で推移していた価格は平年並みに近づく見込み。	
		221.71	256	245	221.71	213		・入荷見込量：2,200t (100) ・主産地：福島(44)、愛媛(19)、北海道(16)
	トマト	218.58	338	374	218.58	407	・入荷見込量：8,788t (100) ・主産地：青森(25)、福島(19)、北海道(11)、群馬(11)、岩手(11)、千葉(7)、秋田(6) ・青森産は気温の上昇とともに生育が回復し、出荷量が増加してきており、今後も順調な出荷となる見込み。福島産は7月の豪雨で少なめの出荷となっていたが、気温の上昇とともに出荷量が増加し、今後は平年並みの出荷が見込まれる。 ・このため高い水準で推移していた価格は、平年並みに近づく見込み。	
		271.33	381	370	271.33	382		・入荷見込量：2,100t (106) ・主産地：岐阜(37)、北海道(32)、岡山(14)、愛媛(6)
	なす	209.55	279	293	209.55	351	・入荷見込量：5,425t (100) ・主産地：栃木(32)、群馬(24)、茨城(23)、埼玉(9) ・栃木産は、生育が回復し前年並みの出荷となっているが、通常なら今後ピークとなるが少雨の影響で花落ちがみられることから、大きなピークにはならない見込み。群馬、茨城産も7月下旬の生育不良が回復し順調な生育となり、今後も順調に推移する見込み。 ・順調な出荷量が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		221.72	320	328	221.72	341		・入荷見込量：1,300t (98) ・主産地：徳島(30)、山梨(15)、京都(11)、大阪(11)、奈良(9)、福島(7)、愛媛(7)
	ピーマン	251.5	378	420	263.58	357	・入荷見込量：2,018t (100) ・主産地：岩手(46)、茨城(19)、青森(14)、福島(12) ・岩手産は、高温で少なめの出荷となっていたが、生育が回復し順調な出荷となっている。今後は気温の低下とともに、生育は鈍化し出荷量は減少する見込み。茨城産は生育、肥大ともに順調で、下旬から9月上旬は前年より多くなる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		253.95	457	428	282.16	341		・入荷見込量：410t (94) ・主産地：兵庫(18)、北海道(17)、福島(16)、愛媛(13)、大分(9)、青森(7)、宮崎(6)
	根 菜	だいこん	99.58	87	90	99.58	71	・入荷見込量：9,304t (102) ・北海道(66)、青森(21)、岩手(9) ・北海道産は一時的に出荷量が増大し、少なかった前年を大幅に上回る入荷量となったが、下旬は出荷量が落ち着いてくる見込み。青森産は、8月の気温の上昇とともに生育が回復し順調な出荷となったが、生育途上の少雨の影響により下旬はやや減少する見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
			111.54	92	93	111.54	73	
にんじん		133.01	100	107	129.56	119	・入荷見込量：5,540t (101) ・主産地：北海道(81)、青森(9)、輸入(6) ・北海道産は、一部に生育の遅れがみられたが7月下旬から回復し、9月上旬までは前年より多めの出荷となる見込み。青森産は作柄が良好で順調な出荷となっているが、生育途上の少雨の影響により下旬はやや減少する見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		139.6	103	110	129.59	122		・入荷見込量：2,200t (105) ・主産地：北海道(85)、長崎(6)

種類		7月の価格動向			8月の価格動向		生育及び価格の8月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額	
			中旬	下旬			
いも	さといも	344	315	351	242.66	373	・千葉産は、春先の少雨の影響で生育の遅れがみられ、小玉傾向となっている。 宮崎産は順調な出荷となっている。 ・価格は平年よりやや高めで推移する見込み。
		347.9	357	317	220.11	279	
	ばれいしょ	96.77	92	93	96.77	96	・北海道産は収穫が始まり、遅れぎみではあるが徐々に出荷量が増えており、少なかった前年よりは多く平年並みの出荷の見込み。 ・価格は、平年並みに推移する見込み。
		96.77	91	91	96.77	104	

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、6月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,904gで対前年比98%、購入金額は、1,857円で同97%となり、購入量、購入金額ともに前年を下回った。 また、小売物価統計によると、7月のキャベツの小売価格は185円で過去5年平均比120%、レタスは313円で同98%となり、キャベツ、は過去5年比を上回り、レタスは同比を下回った。	1 生鮮野菜の購入量及び金額	(1人当たりの購入量、金額)		2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移 (単位：円/kg)					
	年	過去5か年平均		平成22年		平成23年			
		購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比
	月								
資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」	1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
	2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
	3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101
	4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95
	5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93
	6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	98	1,857	97
	7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0
	8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0
	9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0
	10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0
	11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0
	12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0
資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」									
注1：過去5カ年はH18～H22の平均 注2：7月の値は、7月中旬の速報値									

3 野菜の輸入動向

平成23年7月の輸入量を植物防疫統計で見ると、たまねぎは前年比110%(うち中国は109%、オーストラリア1,121%)の2万トン、にんじんは同93%(うち中国は82%、ニュージーランド162%)の6千5百トン、ねぎは同111%(うち中国は同111%)の4千5百トンとなり、たまねぎ、ねぎは前年を上回って推移している。	野菜等の輸入数量の推移について	(単位：トン、%)		主な野菜の輸入動向 (単位：トン、%)				
	区分	平成21年		平成22年		平成23年1～6月		平成23年6月
			前年比		前年比		前年同期比	前年同月比
	生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	510,852	124	110
資料：ペジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」	加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	893,300	109	99
	野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	1,404,152	114	102
	うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	692,093	117	99
	中国産シェア	50		51		49		
品目 輸入先 (A)2010.7 (B)2011.7 (B)/(A)								
たまねぎ	合計	18,462	20,252	110				
	中国	18,272	19,872	109				
	オーストラリア	28	314	1,121				
にんじん	合計	6,965	6,462	93				
	中国	6,405	5,244	82				
	ニュージーランド	426	690	162				
ねぎ	合計	4,083	4,516	111				
	中国	4,081	4,514	111				
資料：農林水産省「植物防疫統計」(2011.7)は、7月末日までの速報値である。								

4 トピック

「1～7月のたまねぎ、にんじんの輸入量について」

平成23年1月～7月までの輸入量を植物防疫統計で見ると6月のたまねぎ、7月のにんじんを除き前年を上回って推移している。

その主な要因は

① 北海道産たまねぎの2年続けたの不作など国内産の供給が減退していること、

② 業務筋においては、一次加工されたむきたまねぎや加工業務用に向く大きなサイズのにんじんなどに対する輸入品への固定的な需要があること、

③ もともと価格差があるところに、中国産は豊作で極端に輸入単価が下がっていること、

などがあげられる。

震災以降外食の売り上げが伸びず実需者の低価格志向が高まっていることなどを踏まえると、今後とも一定数量の輸入が継続するものと見込まれる。

たまねぎ・にんじんの植物防疫検査数量と中国産たまねぎ・にんじんの輸入単価の推移

たまねぎ・にんじんの植物防疫検査数量の推移（平成22年及び23年1～7月）

単位：t

たまねぎ

月	平成22年	平成23年
1月	23,000	41,000
2月	28,000	37,000
3月	34,000	42,000
4月	26,000	31,000
5月	20,000	23,000
6月	30,000	27,000
7月	19,000	20,000

にんじん

月	平成22年	平成23年
1月	1,000	3,000
2月	1,000	6,000
3月	4,000	13,000
4月	5,000	8,000
5月	6,000	7,000
6月	5,000	6,000
7月	7,000	6,000

資料：ペジ探 （原資料）農林水産省「植物防疫統計」

中国産たまねぎ・にんじんの輸入単価の推移（23年）

円/kg

月	たまねぎ輸入単価	にんじん輸入単価
1月	46	46
2月	46	44
3月	49	44
4月	44	41
5月	32	38
6月	26	37

為替レートの推移（平成23年）

円/ドル

月	為替レート
1月	82.8
2月	82.2
3月	82.2
4月	82.8
5月	81.5
6月	80.8
7月	80.2

参考

資料：ペジ探 （原資料）財務省「貿易統計」